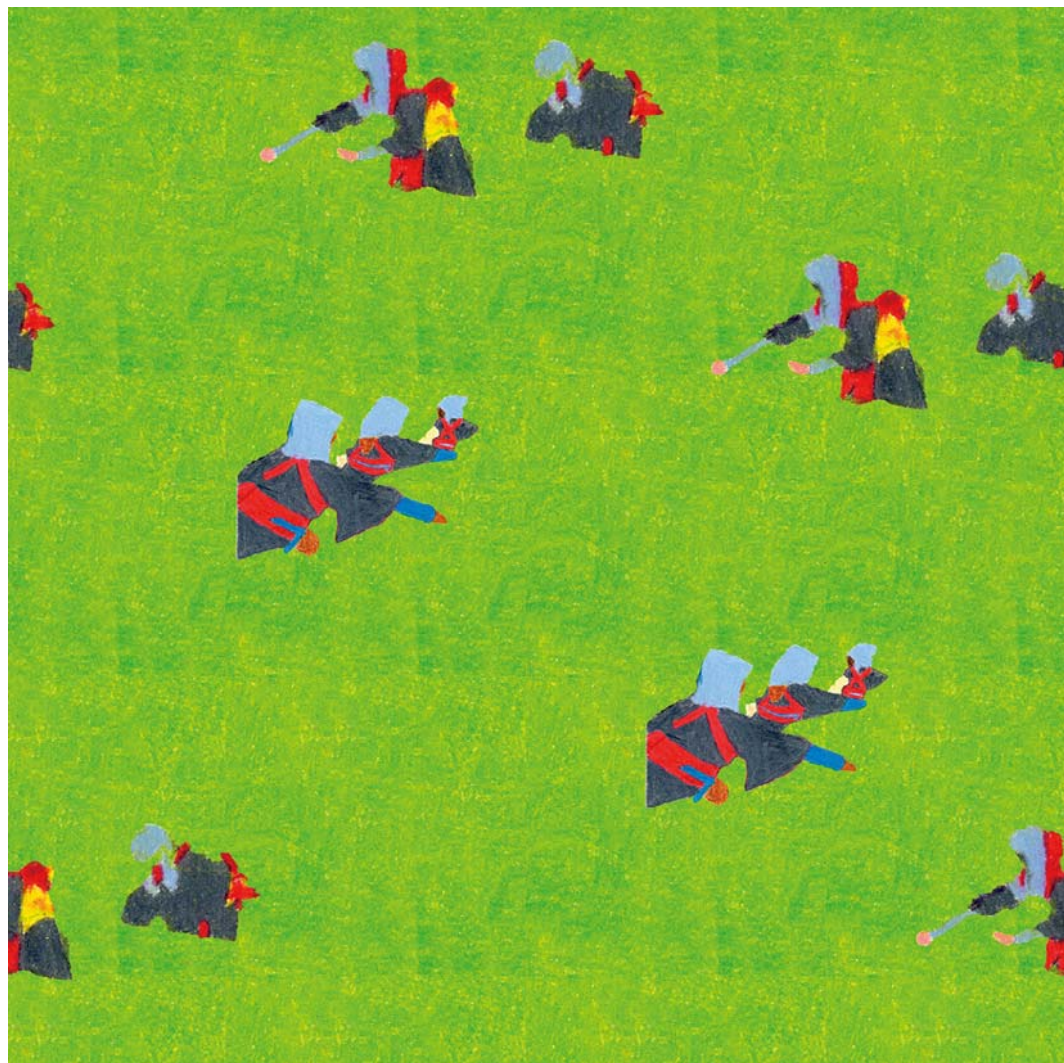




吉田 裕志 よしだ ひろし | アトリエやっほう!!

力強いタッチと軽快なフォルムが積み重なる作品が多い。
題材は動物、風景、人物、お祭りなど様々。
それらの絵に登場する動物や人物は時にコミカルで、どこか本人にも似て愛らしい。



茶摘み

kf_p0001_ay

色鉛筆でぐいぐいと何重にも重ねて描かれた無限に広がる緑の茶畑の中、吉田さんが描く茶摘み姿はやはり愛らしい。

作品背景

「京都らしさ」を連想するイメージ、風景の中から、宇治の茶摘みを描いてもらった。茶摘み姿だけを描いてほしいとお願いしたもの、時間を掛けて茶畑までしっかりと描いてくれた。丁寧に塗りこめた色の重なりが緑の陰影となって、無限に広がる茶畑に愛らしい茶摘み姿がせつせと登場するパターンとなった。

原画





小寺 由理子 こてらよりこ | アトリエやっほう !!

描く題材は世界各地の都市、全国の寺社仏閣、動物など。いくつかのパターン化された鮮やかな配色が特徴。青、赤、灰色、山吹色…と規則的に並ぶ色と、大胆なフォルムの捉え方が合わさってユーモラスで楽しい作品が生まれる。



アルファベット・ワールドツアー

kf_p0002_ay

小寺さんの可愛いフィルターを通して描かれるアルファベットの世界旅行。

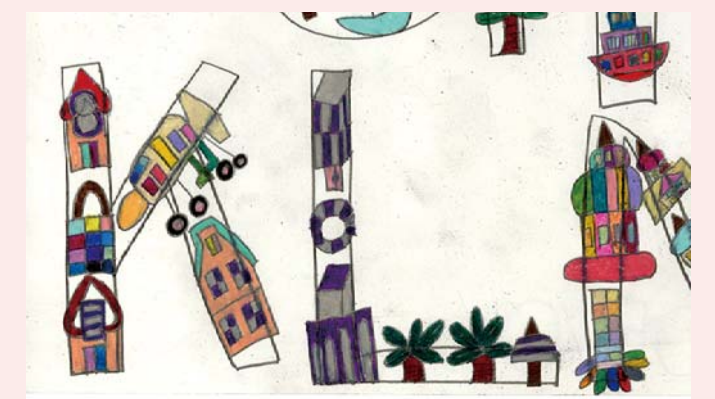
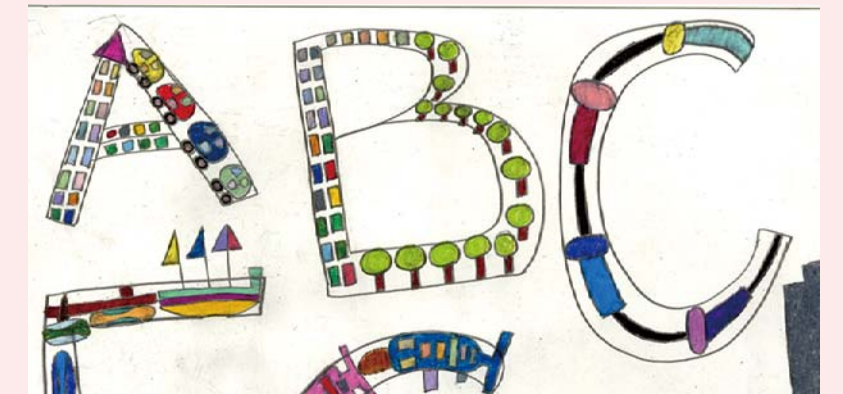
あなたなら、どのアルファベットで旅をする？

※アルファベット 26 字すべてデータ化。組み合わせ自由。

作品背景

アルファベットのデザインをお願いすると、お気に入りの世界各地の都市やランドマークが小寺さんの可愛いフィルターを通してデフォルメされ、なんとアルファベットとドッキング。単語を作るもよし、好きなアルファベットだけを選んでアイコンやパターンにするもよし。まさに自由な旅するアルファベットパターンとなった。

原画





西村 紫苑 にしむらしおん | アトリエやっほう!!

大好きな仏像やヒーロー・ヒロインを空想で迷いなく黙々と描き、あっという間に作品を仕上げる。その作品は平面の紙だけでなく、段ボールや色紙を使って色とりどりの立体的なフィギュアともなる。(完成した作品は時々描き加えたりテープで補修したりする。) 自作の完成したフィギュアを両手に持ち、会話したり、戦わせたりと空想の世界に思いを馳せる。ご本人曰く「しおんワールドによこそ!」



仏像48

kf_p0003_ay

西村さんが思い描くカッコいい仏像が大集合。
立体曼荼羅ならぬ立体ヒーローチームの
仏像48にぜひ推しの一手を。

作品背景

自分で描いた大好きな仏像やヒーロー・ヒロインの作品に囲まれて座り、スイッチが入ると迷いなく何枚も黙々と絵を描く。その作品の中から、西村さんの推しの仏像を集めてヒーローチーム=仏像48を結成。西村さんが完成した作品をいつの間にか改修するように、誰かの手で育つ推しパターンになることを願って。

原画





肥後 深雪 ひごみゆき | アトリエやっほう!!

その時の気分で色鉛筆、水彩絵具、刺繍糸などを使い分けて、実に楽しそうに自由な作品を制作する。
作品に登場する生き物や植物は、可愛いものから作者本人にもわからない不思議なものまで様々。優しさがにじみ出るカラフルな作品が今日も生まれている。



水玉シリーズ・お花畑

kf_p0004_ay

ゆらゆらと揺らめく一面の緑に、
赤と緑、大と小の水玉のコントラストが
何とも可愛いお花畑に。

作品背景

「水」をテーマに作品作りをお願いすると、水彩絵具で何枚も楽しそうに描いてくれた。時にはタンポで優しくポンポンと、時には大胆に筆で丸や揺らめきを。その時の気分で描かれる作品は、「水」が自由に楽しく遊ぶように跳ねて新しい世界観が生まれ、今回は可愛いお花畑となった。

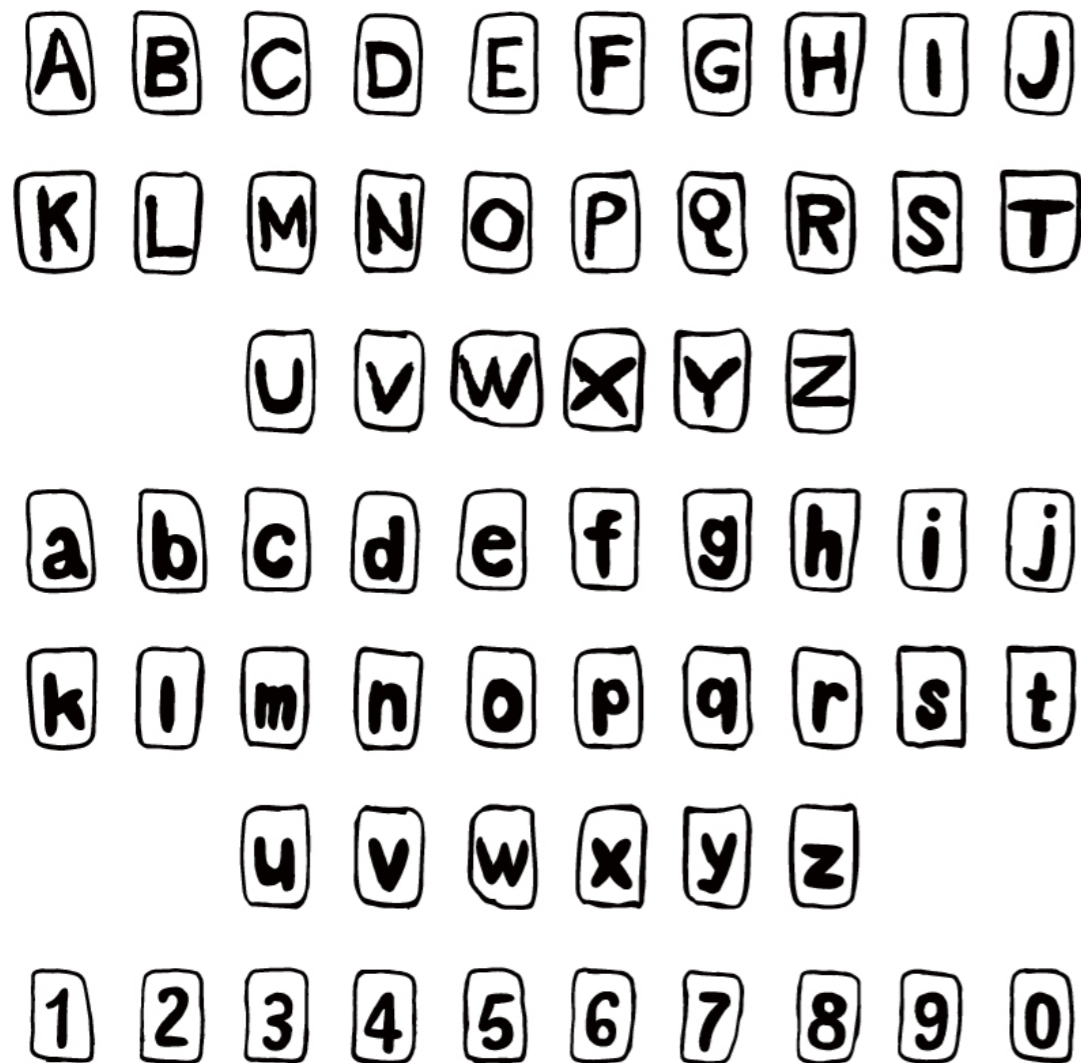
原画





石原 未優 いしはら みゆ | アトリエやっほう !!

可愛いアニメやキャラクターを描いて、一面が自分の作品で埋まったアトリエの壁を眺めるのが習慣。描くと決めたモチーフは、明るくカラフルに可愛らしく、そして几帳面に画面に収められる。時には少し茶目っ気のあるアドリブも加わりユーモアのあるキャラクターが生まれる。



タブレットフォント

kf_f0001_ay

普段の絵の可愛いらしさと几帳面さが、形として表れたタブレット型のフォント。

作品背景

普段は自分が好きなアニメやキャラクターばかりを描く石原さんが、アルファベットを描いてほしいという人からの要望に向きあって描いてくれた作品。描き始めのアルファベットが段々と小さくなっていくところに、画面にアルファベットを全部収めようという、石原さんの几帳面さが表れている。

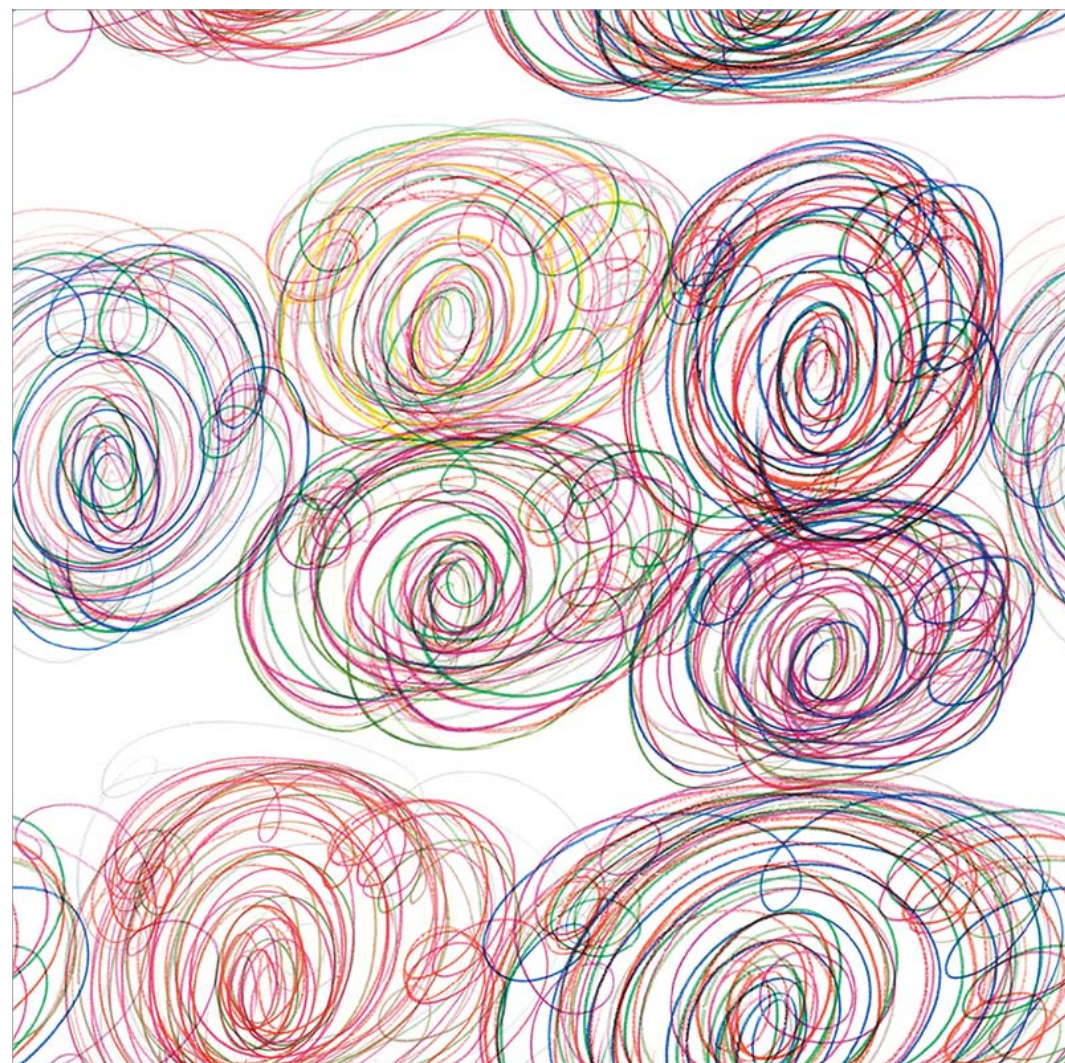
原画





足立 茉莉 あだち まり | 天才アート KYOTO

ドローイングはどれも鮮やかな色彩で描かれる。重層化する渦巻模様は、「花丸」のようにも「花火」のようにも見え、鑑賞者にさまざまな印象を与える作品となって結実している。



うずまきの グラデーション

kf_p0005_tk

グルグルと重なった渦巻きが
色鮮やかなグラデーションに。

作品背景

2013年からペンで渦巻き状に描く作風となり、渦巻きが1つから2つ、3つとだんだん増えて10個まで数えるように。グルグルと色鮮やかにダイナミックに描かれていく様が、ありありと目に浮かぶような渦巻き模様。見る者にさまざまなイメージを想起させる不思議なパターンとなった。

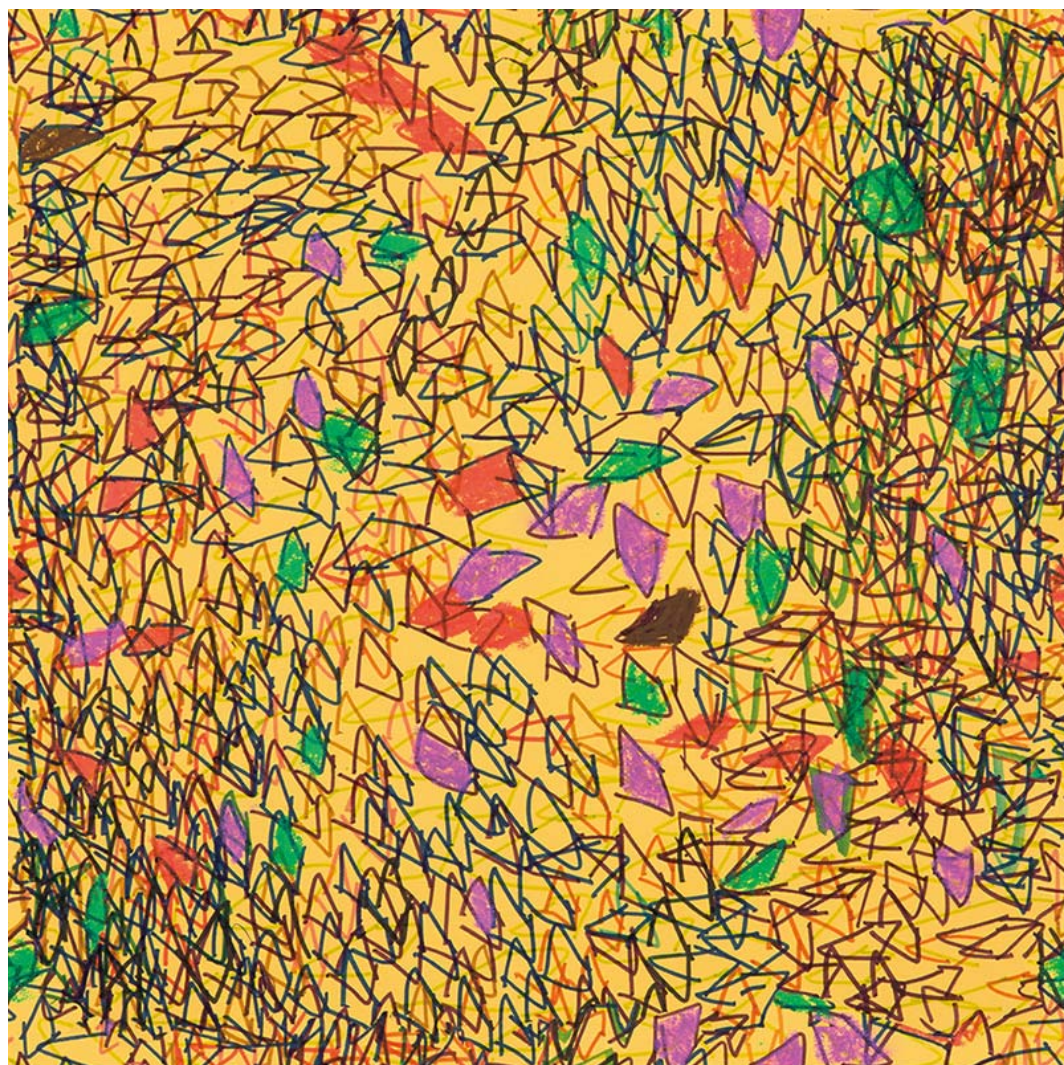
原画





佐野 靖文 さの やすふみ | 天オアート KYOTO

画面に連続した色を重ねるように描く。近年ではキャンパスにアクリル絵の具を使い、色を置くように描くことが多いが、丁寧に色を一つひとつ重ねて描く姿は、過去も現在もずっと変わらない。



無題

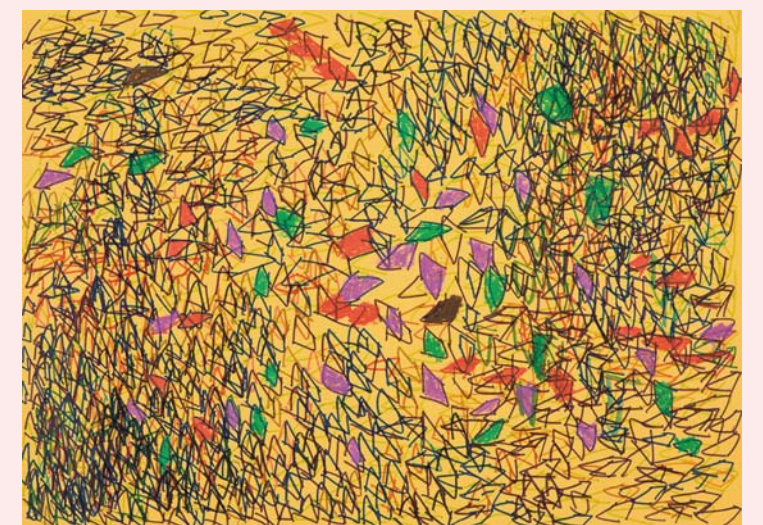
kf_p0006_tk

つながって重なったひし形模様の連続は、どこか「万華鏡」のようにも感じられる。

作品背景

佐野さんの作品はどれも反復で描かれ、一見してその絵に中心がないかのような不思議な錯覚に陥る。また一作品ごとに素材やタッチを変えて丁寧に描かれており、今回の作品も緻密なひし形の連続が新たな模様や視点のズレを生み、観る者に万華鏡見ているような気持ちにさせる。

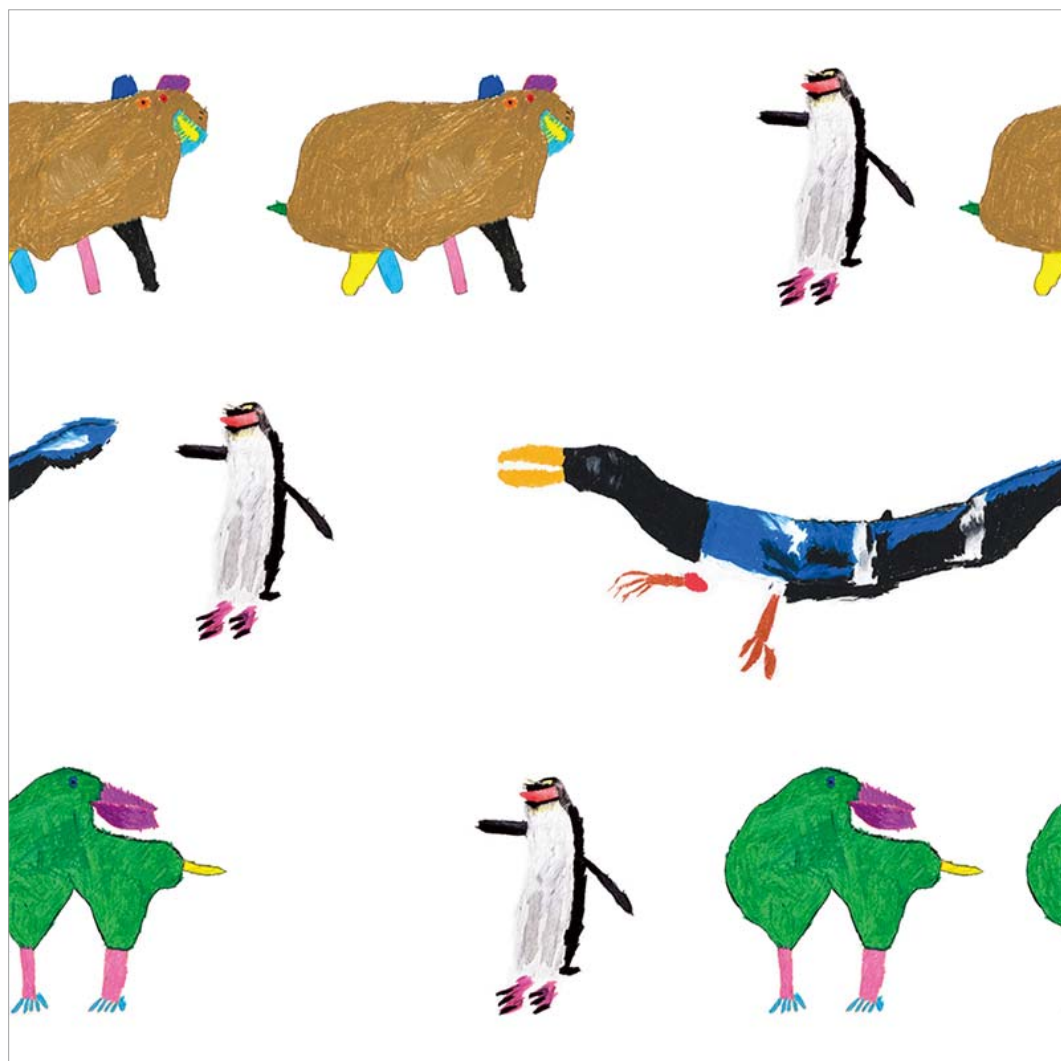
原画





高島 晃平 たかばたけ こうへい | 天オアート KYOTO

制作の様子は、腕全体を大きく動かし、時には自身が大きな画用紙の上に乗って動物を描く。図鑑を参考に描きながらも、その色や動物の表情は多様で独創性があり、高島が持つ独自の世界を見ることができる。



「イノシシ」他3点

kf_p0007_tk

ダイナミックに描かれた動物たちは
独自のカラフルな創造の世界へ。

作品背景

当初は実物の色に近い動物の絵を描いていたが、長い時間をかけてゆっくりと今の画風、を築きあげてきた。別の見方をするならば、継続的に描くことによって現実の動物たちを高島さん独自の創造の世界へ誘うことができるようになったのかもしれない。

原画





知原 諒汰 ちはらりょうた | 天才アート KYOTO

色や形、数字を画面に散りばめるように描く。描かれる数字は「好きな数字」や「温度」「ラジオの周波数」などさまざまだが、中には本人にしかわからない意味が隠された数字やモチーフも多くある。



数字

kf_p0008_tk

世界が謎の数字と多彩な色彩であふれていることに気が付く。

作品背景

近年さまざまなモチーフ、キャラクターや数字、色彩が融合されたかのようなシリーズの作成が始まった。ただの数字の羅列のこともあれば、実在のラジオ局の周波数であったり、知原さんにしかわからない意味が込められた数字やモチーフであったりと、実に謎めいて興味深い。

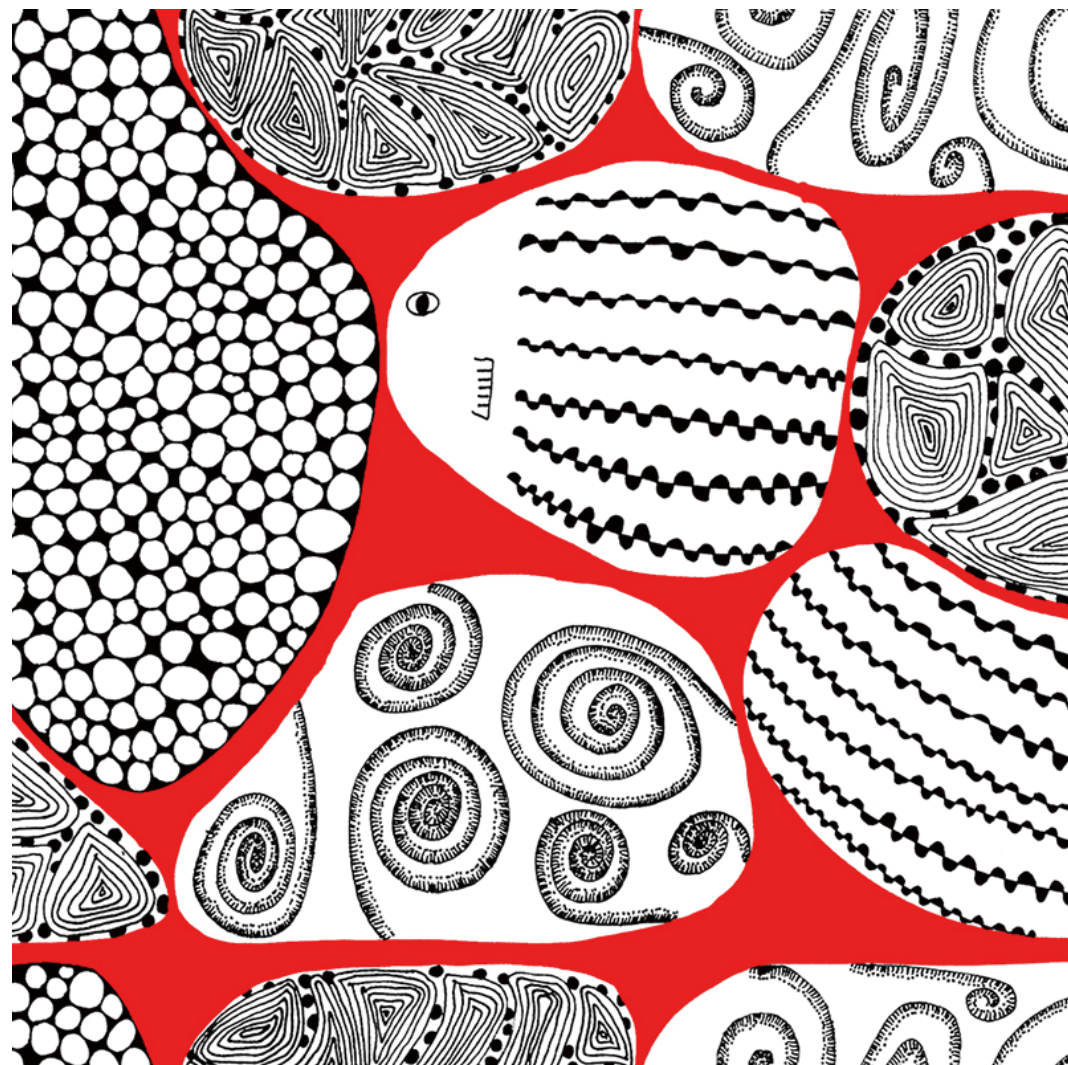
原画





水玉 みるい みずたま みるい | 天才アート KYOTO

1990年代の「カワイイ文化」の中で育ち、自身のドットや網目で埋め尽くされた細密画を自ら「カワイイ」と言う。水玉さんが描くドットや網目の文様は、90年代に生まれた彼女の中の「カワイイ」を代表するモチーフなのかもしれない。



赤の水族館

kf_p0009_tk

緻密な点や網目で描かれた作品は、どこかユーモラスで愛らしい。

作品背景

水玉さんのいう「カワイイ」目線で作品をみると、画面を埋め尽くす水玉や文様は決しておどろおどろしいだけでなく、実はどこかユーモラスで愛らしいことに気が付く。作品を前に感じる「可愛さとおどろおどろしさ」という分別不可能な感情こそ、水玉さんの作品の魅力なのかもしれない。

原画

